

ZENRIN

証券コード:9474

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月15日

Maps to the Future

株式会社 **ゼンリン**

1. 2024年3月期 決算概要

2. 2025年3月期 通期業績予想

3. 各事業の概況

■ Appendix

1. 2024年3月期 決算概要

- 1) 決算概要
- 2-①) 事業別売上高の増減
- 2-②) 営業利益の増減【売上高・費用内訳】
- 3) 価格改定による増収効果について
- 4) キャッシュ・フロー
- 5) 配当金

1) 決算概要

2024年3月期 決算のポイント 【売上・営業利益 2期ぶりの増収増益】

売上高 ■ IoT関連で前期計上した受託案件の反動減や子会社の一部サービス終了による影響があったものの、自動車生産の持ち直しを背景にオートモーティブ関連でカーナビ用データ販売が大幅に増加、官公庁向けの住宅地図データ提供や受託案件などが堅調に推移し、**2期ぶりの増収**

費用・損益 ■ 増収に伴う売上原価や位置情報の精度向上に係る地図データベース整備費用、ベースアップなどの影響により、営業費用が増加したものの、増収で吸収し、営業利益は**2期ぶりの増益**

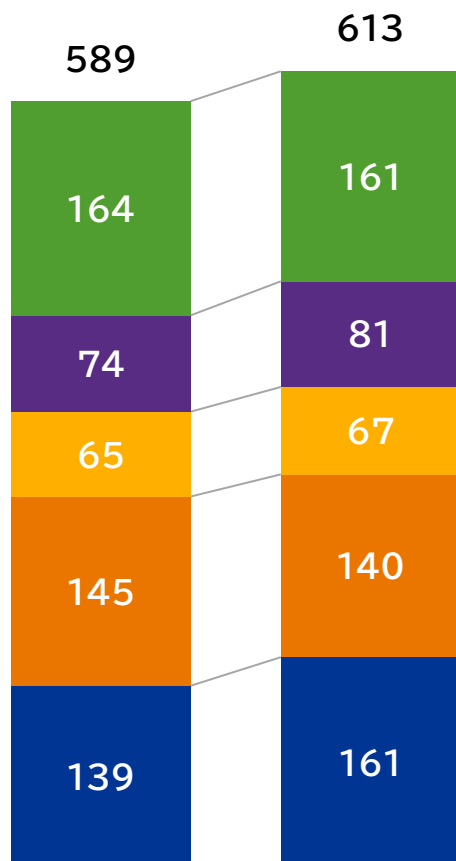
(金額単位:百万円)

	①前期実績 (23年3月期)	当期(24年3月期)					
		②業績予想 (2023年4月28日開示)	③当期実績	前期比(③-①)		業績予想比(③-②)	
				増減率		増減率	
売上高	58,933	62,000	61,335 過去2位	+2,401	+4.1%	△664	△1.1%
営業費用	57,134	59,500	59,353	+2,219	+3.9%	△146	△0.2%
営業利益	1,799	2,500	1,981	+182	+10.1%	△518	△20.7%
営業利益率	3.1%	4.0%	3.2%	+0.1pt	—	△0.8pt	—
経常利益	2,104	2,700	2,060	△44	△2.1%	△639	△23.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,770 <small>子会社再編に伴う固定資産売却益や 子会社出資金売却益等を特別利益に計上</small>	1,800	2,078 <small>投資有価証券売却益を 特別利益に計上</small>	△692	△25.0%	+278	+15.5%
ROE (自己資本当期純利益率)	5.9%	4.0%	4.4%	△1.5pt	—	+0.3pt	—

1. 2024年3月期 決算概要

2-①) 事業別売上高の増減

(金額単位:億円)

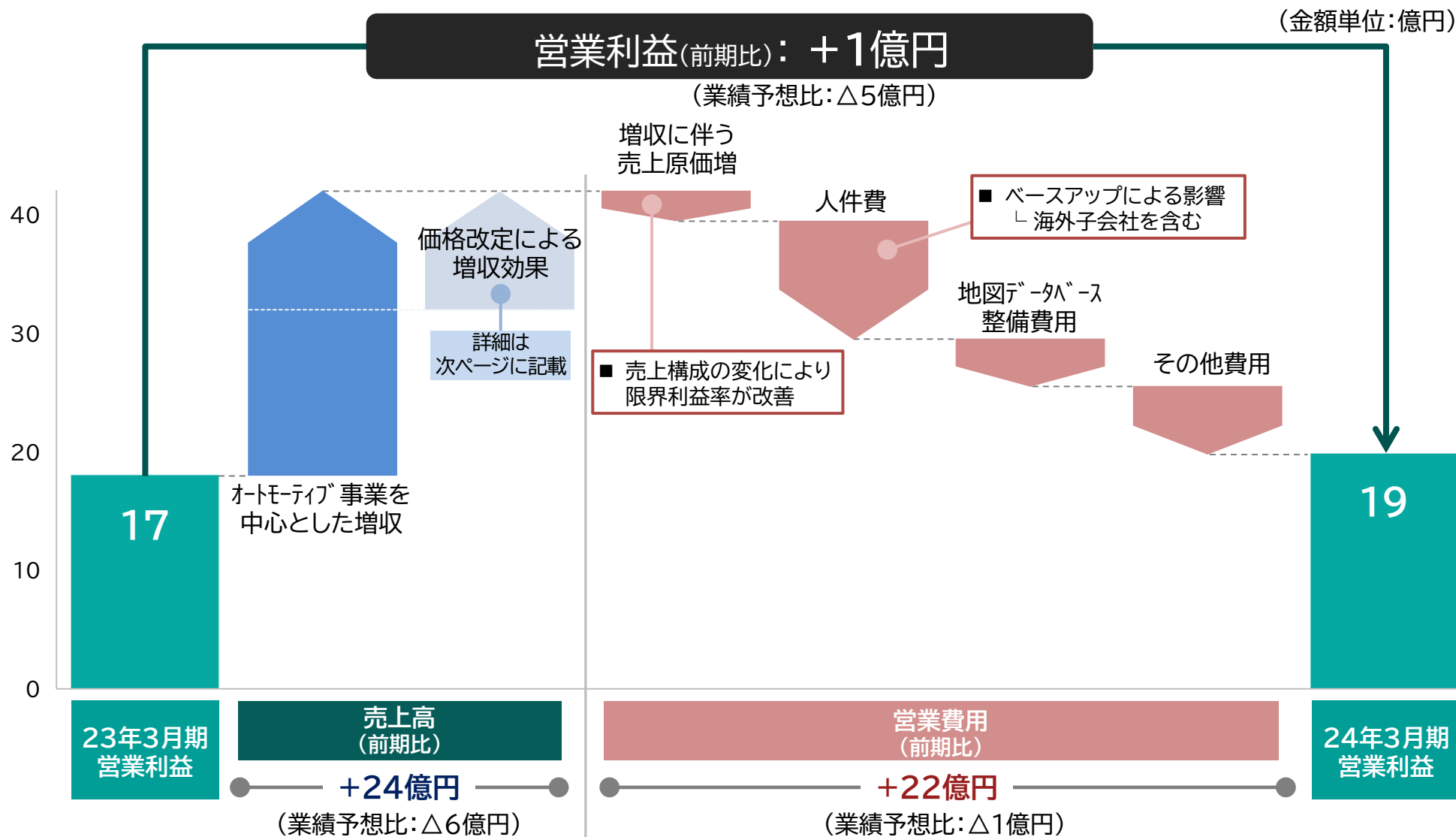


23年3月期

24年3月期

	前期比 (増減率)	業績予想比 (増減率)	2024年3月期の事業概況
売上計	+24 (+4.1%)	△6 (△1.1%)	—
プロダクト	△2 (△1.5%)	△7 (△4.2%)	● ストック型サービスは堅調に推移したが、住宅地図帳販売や前期受託案件の反動減で減少
公共リレーション	+6 (+8.9%)	+4 (+5.8%)	● 官公庁向け住宅地図データ提供や自治体向け受託案件が増加
マーケティングリレーション	+2 (+4.2%)	+0 (+1.3%)	● 販促需要回復によりDM発送や販促支援サービス、コンサルティングサービスが増加
IoT	△5 (△3.6%)	△8 (△5.7%)	● 前期受託案件の反動減や子会社の一部サービス終了などによる減少
オートモーティブ	+22 (+16.0%)	+3 (+2.4%)	● 自動車生産回復に伴うカーナビ用データ販売復調

2-②) 営業利益の増減【売上高・費用内訳】

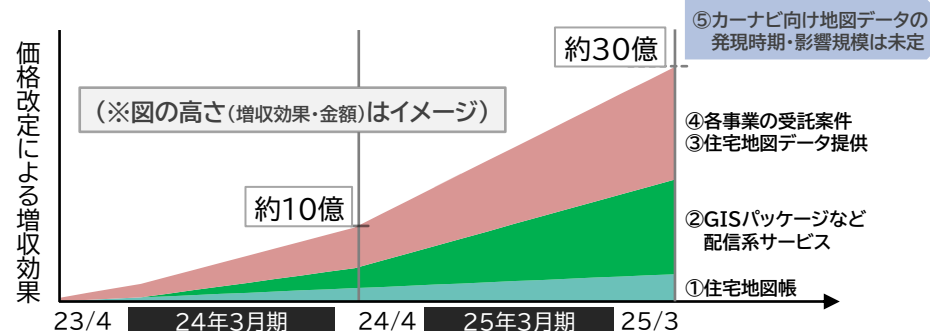


3) 価格改定による増収効果について

価格改定による24年3月期中の増収効果 【約10億円】

- 24年3月期の増収効果は概ね計画通り
- 25年3月期は、価格改定対象商品・サービスの拡大により、増収効果は約20億円を見込む

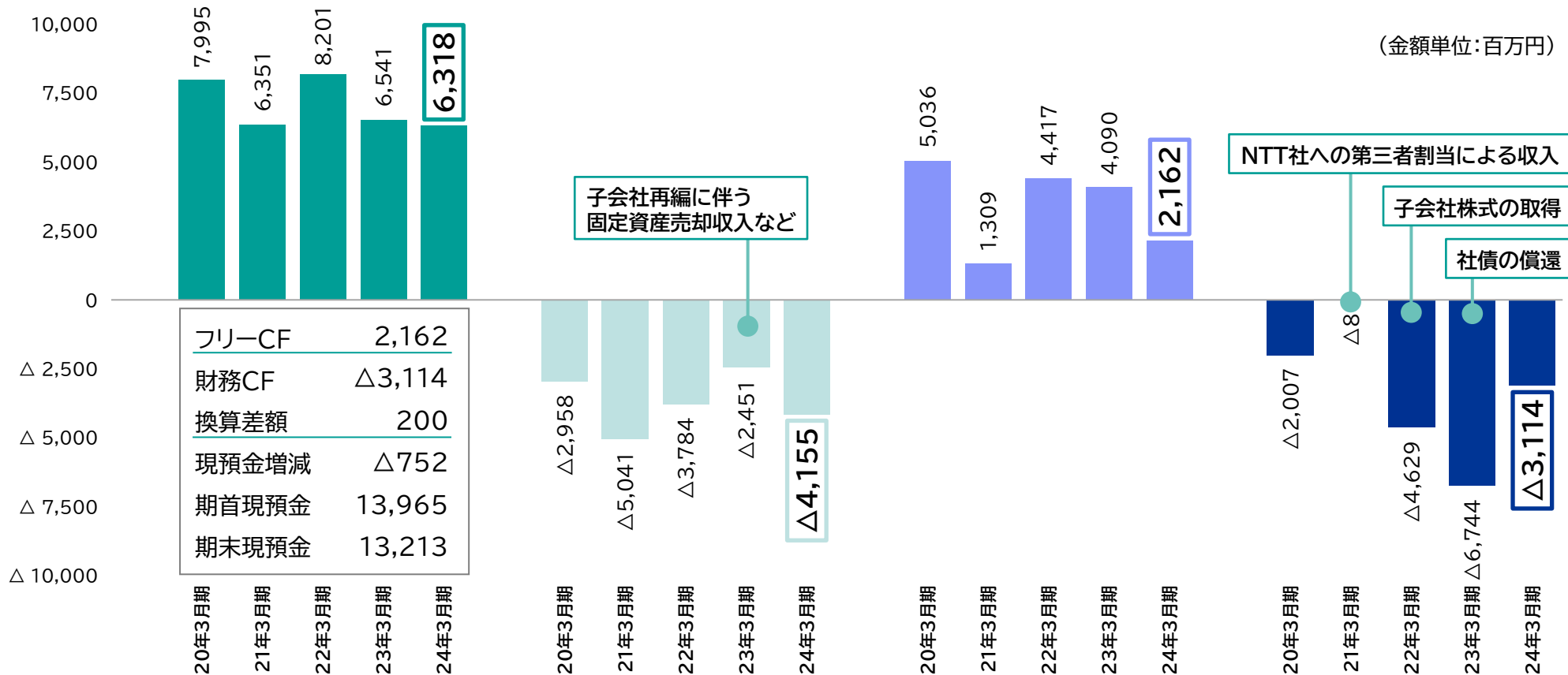
<価格改定による増収効果のイメージ>



<商品・サービス毎の価格改定実施状況>

	商品・サービス	事業	ビジネス	価格改定状況	特記事項
①	住宅地図帳	プロダクト・公共	フロー	2023年4月～	—
②	GISパッケージなど配信サービス	プロダクト・公共	ストック	2023年8月～	価格改定理由の解約はほぼ無し
③	住宅地図データ提供	プロダクト・公共	フロー	2024年4月～ (一部は前期中に発現)	2023年4月から価格改定交渉を実施
④	受託案件	各事業	フロー		2023年4月から人件費や調達原価の増加を反映した案件交渉を実施
⑤	カーナビ向け地図データ	オートモーティブ	フロー	次期モデル向けに交渉実施中	交渉中のナビモデル発売は2026年3月期以降 (通常、2～3年先を睨んで交渉)

4) キャッシュ・フロー



フリーCF	2,162
財務CF	△3,114
換算差額	200
現預金増減	△752
期首現預金	13,965
期末現預金	13,213

	営業CF	投資CF	フリーCF	財務CF
24年3月期	6,318百万円収入	4,155百万円支出	2,162百万円収入	3,114百万円支出
前期比	222百万円 収入減	1,704百万円 支出増	1,927百万円 収入減	3,629百万円 支出減

5) 配当金

利益還元の
基本方針

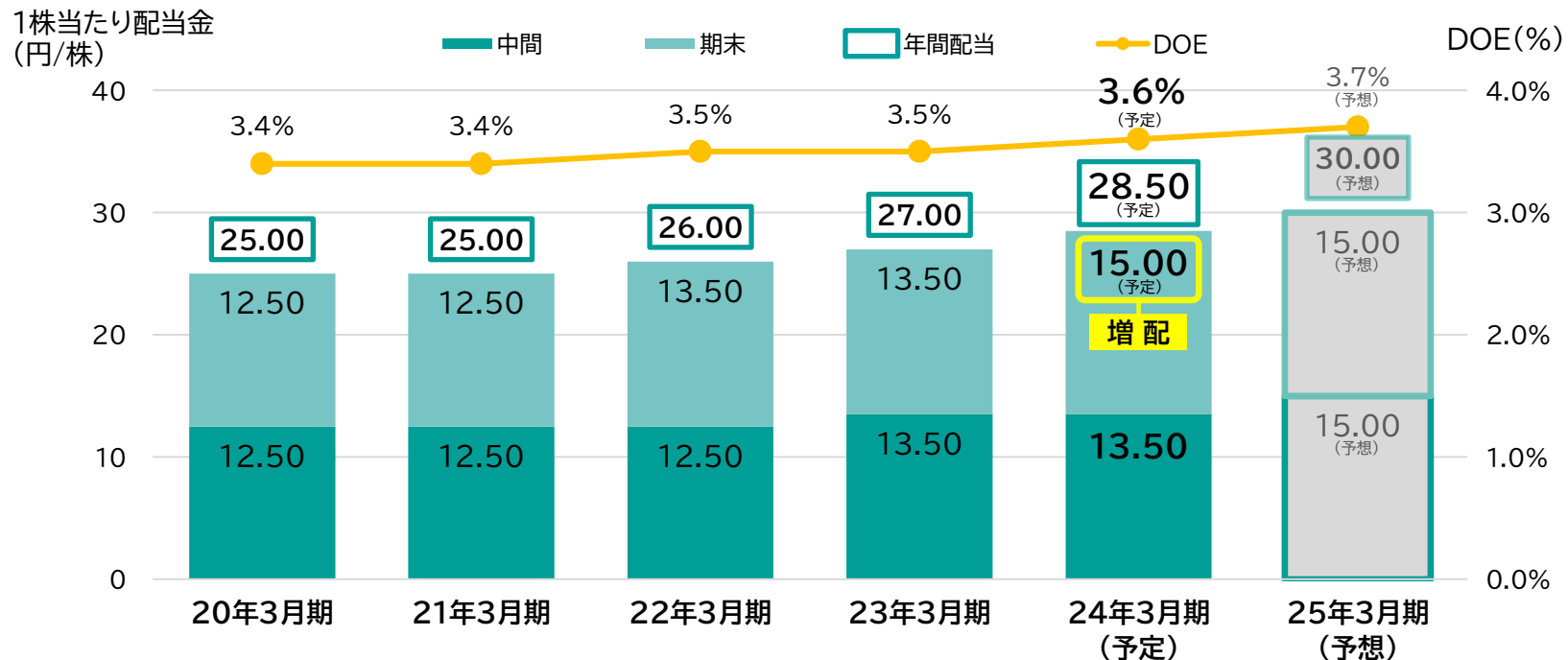
株主の皆様に対する利益還元を最重要課題と位置づけて、
連結ベースでの中長期経営計画における利益成長に基づいた、安定的かつ継続的な配当を実施

配当

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施

連結株主資本配当率(DOE) 3%以上を目標

<2024年3月期実績(予定)> 年間配当 28.5円 (前期比+1.5円) / DOE 3.6% (前期比+0.1pt)



2. 2025年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想
- 2) 売上高・利益の推移
- 3-①) 業績予想の前提【事業別売上高】
- 3-②) 業績予想の前提【売上高・費用内訳】

1) 通期業績予想

売上高

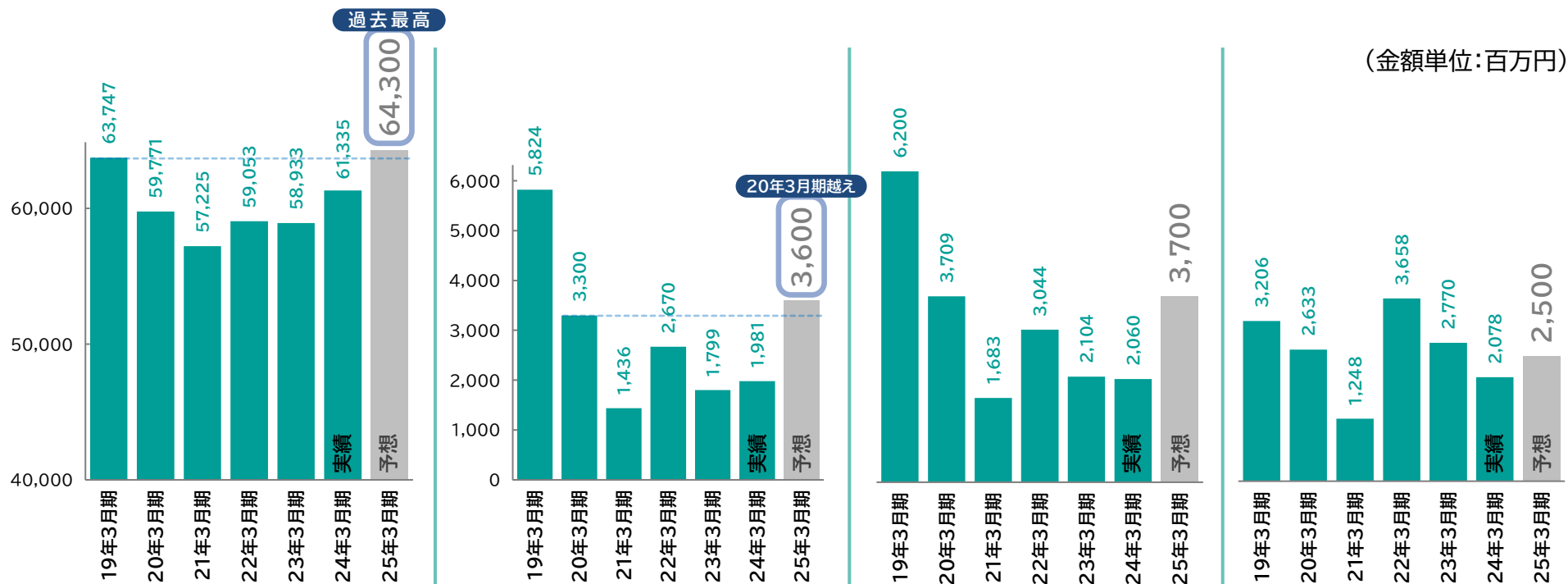
- GISパッケージなどのストック型ビジネスの拡大と価格改定による増収
- 自動車生産回復に伴いオートモーティブ関連売上が堅調に推移

費用 ・ 損益

- ベースアップによる影響や、増収に伴う売上原価等での費用増加を想定するが、増収で吸収し、営業利益は増益を予想

(金額単位:百万円)

	①23年3月期 実績	②24年3月期 実績	③25年3月期 予想	前期比(③-②)	
					増減率
売上高	58,933	61,335	64,300 過去最高	+2,964	+4.8%
営業費用	57,134	59,353	60,700	+1,346	+2.3%
営業利益	1,799	1,981	3,600	+1,618	+81.7%
営業利益率	3.1%	3.2%	5.6%	+2.4pt	—
経常利益	2,104	2,060	3,700	+1,639	+79.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,770 <small>子会社再編に伴う固定資産売却益や 子会社出資金売却益等を特別利益に計上</small>	2,078 <small>投資有価証券売却益を 特別利益に計上</small>	2,500	+421	+20.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	5.9%	4.4%	5.0%	+0.6pt	—



売上高

+2,964百万円
(+4.8%)

前期比
(増減率)

2期連続 増収

営業利益

+1,618百万円
(+81.7%)

2期連続 増益

経常利益

+1,639百万円
(+79.6%)

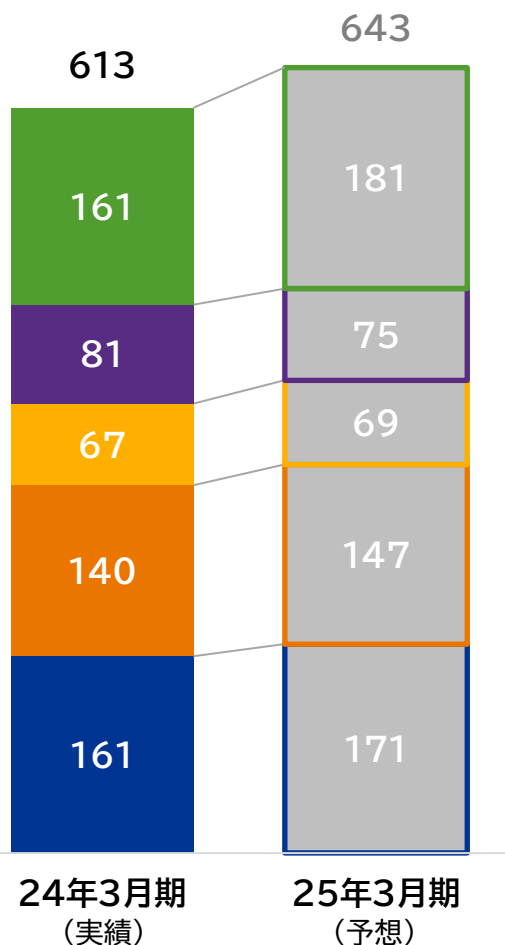
3期ぶり 増益

親会社株主に帰属する
当期純利益

+421百万円
(+20.3%)

3-①) 業績予想の前提【事業別売上高】

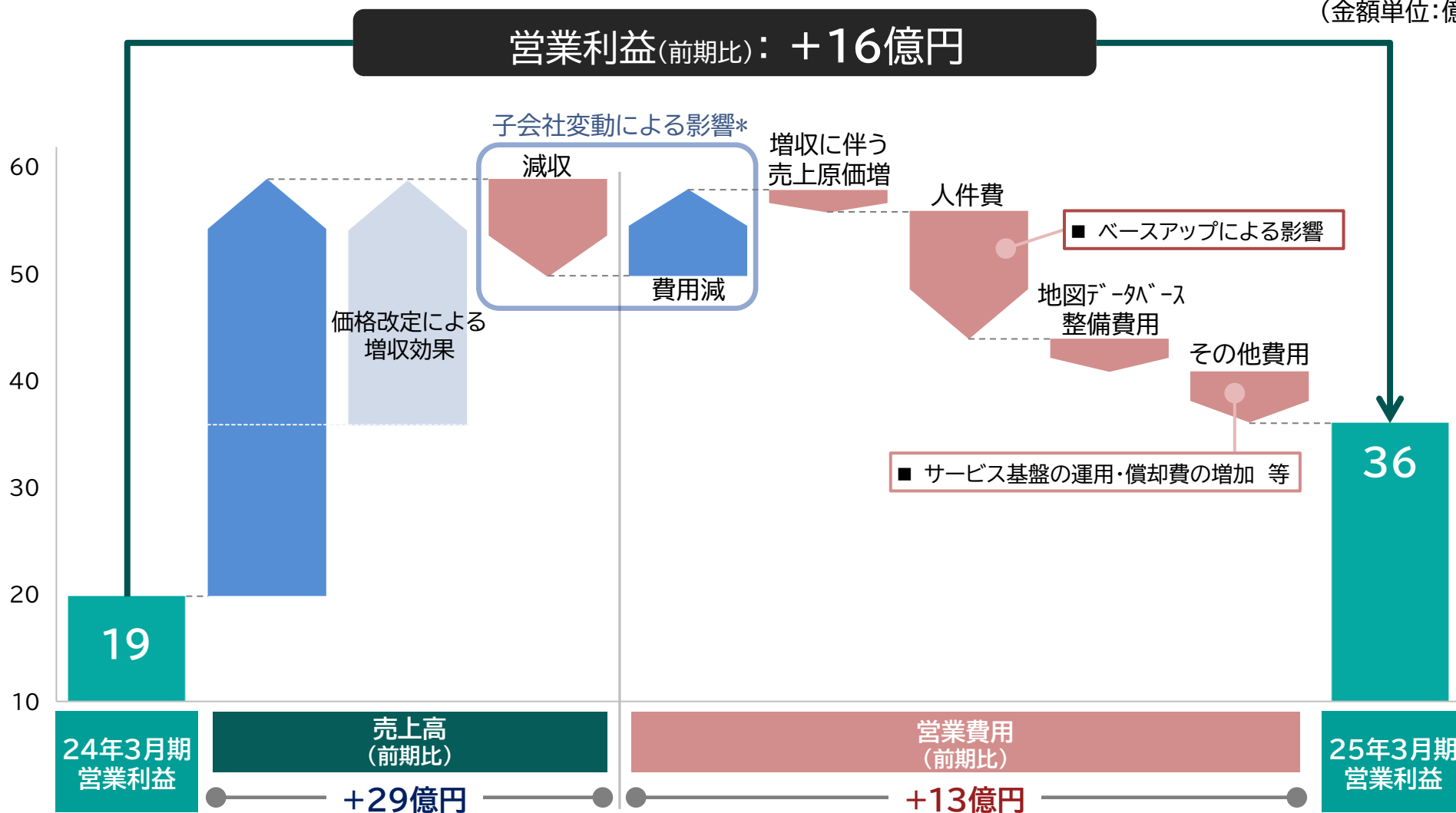
(金額単位:億円)



	前期比 (増減率)	2025年3月期の取り組み
売上計	+29 (+4.8%)	—
プロダクト	+19 (+11.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ● GISパッケージ、住宅地図データ提供の増加 ● 価格改定効果による増収効果
公共ソリューション	△6 (△7.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅地図データ販売、受託案件の前期反動減を見込むがストック型ビジネスへの転換取り組みを強化
マーケティングソリューション	+1 (+1.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来の広告ビジネス及び、販促支援サービス、コンサルティングサービスの拡大
IoT	+6 (+4.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● ソリューションビジネスの拡大 ※連結除外となったWill Smartの売上高を除くため、実質16億規模の増収目標
オートモーティブ	+9 (+5.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市場回復によりカーナビ向けデータ販売が堅調に推移

3-②) 業績予想の前提【売上高・費用内訳】

(金額単位:億円)



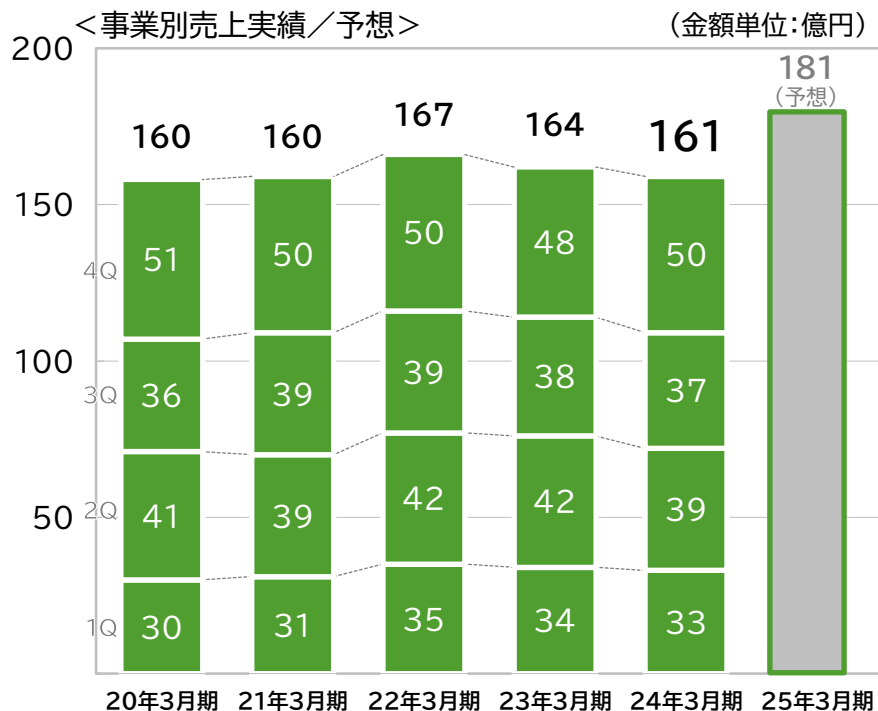
* 子会社の変動
 ◻ (株)Will Smart: 2024年4月の上場に伴い、連結子会社から持分法適用関連会社へ
 ◻ ローカスブルー(株): 2024年4月に連結子会社化

3. 各事業の概況

- 1) プロダクト事業
- 2) 公共ソリューション事業
- 3) マーケティングソリューション事業
- 4) IoT事業
- 5) オートモーティブ事業
- 6) 地域共創プロジェクトの進捗

フロー型商品・受託案件の反動減 ストック型サービスは好調に推移

24年3月期 実績 **【161億円】**
 前期比 $\Delta 2$ 億円 ($\Delta 1.5\%$)
 業績予想比 $\Delta 7$ 億円 ($\Delta 4.2\%$)



ビジネス概況

- GISパッケージ \blacktriangleright 【ストック型】
 - ✓ 価格改定効果に加え、価格改定前の新規契約増で増収 (売上高 42億円、前期比+約6億円)
- 住宅地図帳 \blacktriangleright 【フロー型】
 - ✓ スtock型サービスへの商品シフトや更新サイクル見直し等による出版本数の減少により減収
- 受託案件 \blacktriangleright 【フロー型】
 - ✓ 前期まで複数年続いた大型受託案件の反動減
- 24年3月期末のプロダクト事業 スtock:フロー比率 = 【5:5】

中計:ZGP25ゴール

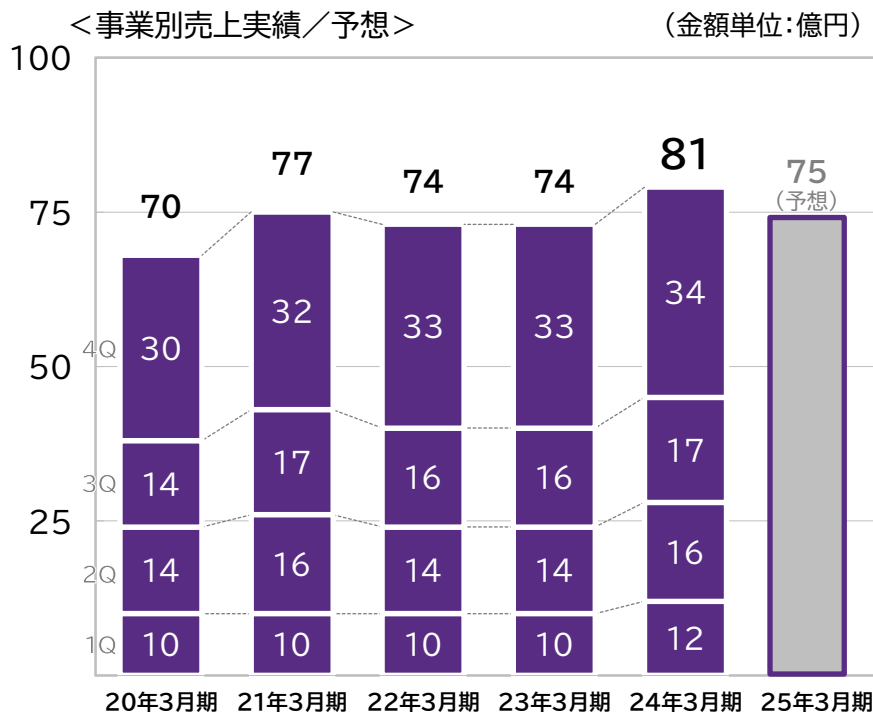
次期取り組み

ストック型ビジネスの売上比率を70%に拡大

- GISパッケージ
 - 商品ラインナップ拡充と営業強化により契約数増加
 - ・2024年4月「GISパッケージ セールスサポート」発売開始
- 価格改定効果
 - 住宅地図データを含む改定価格の本格的適用による増収を見込む

官公庁・自治体向けの 住宅地図データ提供や受託案件好調

24年3月期 実績	前期比	+6億円 (+8.9%)
【81億円】	業績予想比	+4億円 (+5.8%)



ビジネス概況

- 住宅地図データ提供 ➡【フロー型】
 - ✓ 官公庁へのデータ提供案件が増加 (契約により一括計上の影響含む)
- 受託案件 ➡【フロー型】
 - ✓ 自治体向け受託案件が好調
- 自治体向けストック型サービス ➡【ストック型】
 - ✓ 順調に拡大し、現在400以上の自治体へ導入

中計:ZGP25ゴール

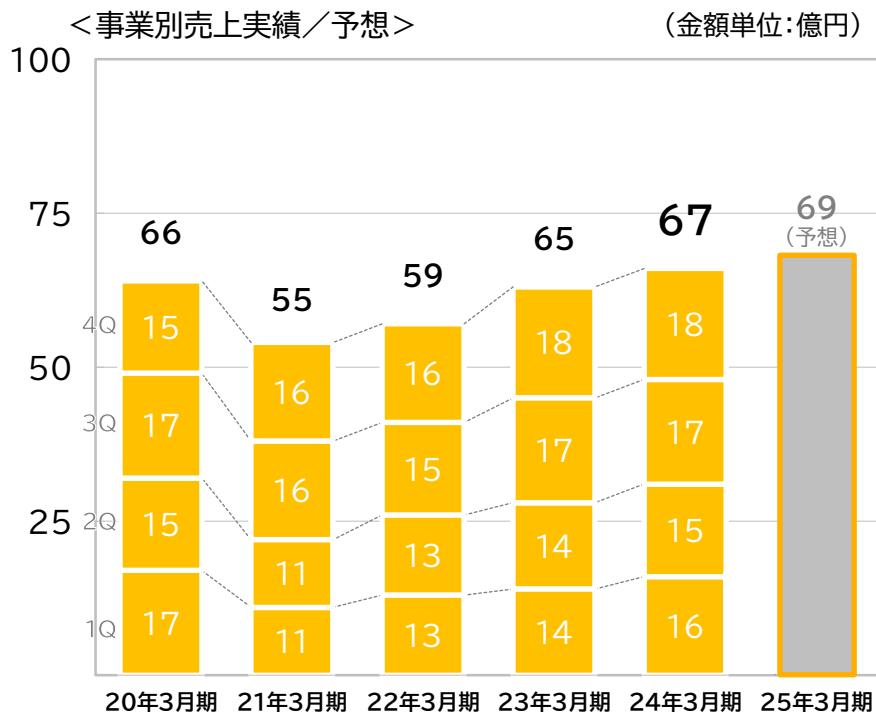
フロー型ビジネスからストック型ビジネスへの転換と
受託ソリューションによる売上拡大

次期取り組み

- 24年3月期の受注増の反動で減収を見込むが、ストック型サービス(※)を強化し、安定収益基盤の構築を図る (※「ゼンリン住宅地図LGWAN」「自治体専用 住宅地図 for WEB」など)
- 地域の課題解決に貢献する用途開発を進め、自治体における当社地図の浸透とプラットフォーム化を目指す

取引先の需要回復に伴い 販促・広告ビジネスが堅調 コンサルティングサービスも拡大中

24年3月期 実績 【67億円】	前期比	+2億円 (+4.2%)
	業績予想比	+0億円 (+1.3%)



ビジネス概況

- DM発送代行 ➡【フロー型】
✓ 顧客の販促活動が回復(拡大)し、案件増加
- 「らくらく販促マップ」 ➡【フロー型・ストック型】
✓ らくらく販促マップにエリア分析やポスティング等を行うオプションを追加した「セレクションサービス」が堅調に推移
- コンサルティングサービス ➡【フロー型・ストック型】
✓ マーケティング支援サービスの開発受託案件が好調
✓ 多店舗展開向けのパッケージ商品販売も増加

中計:ZGP25ゴール

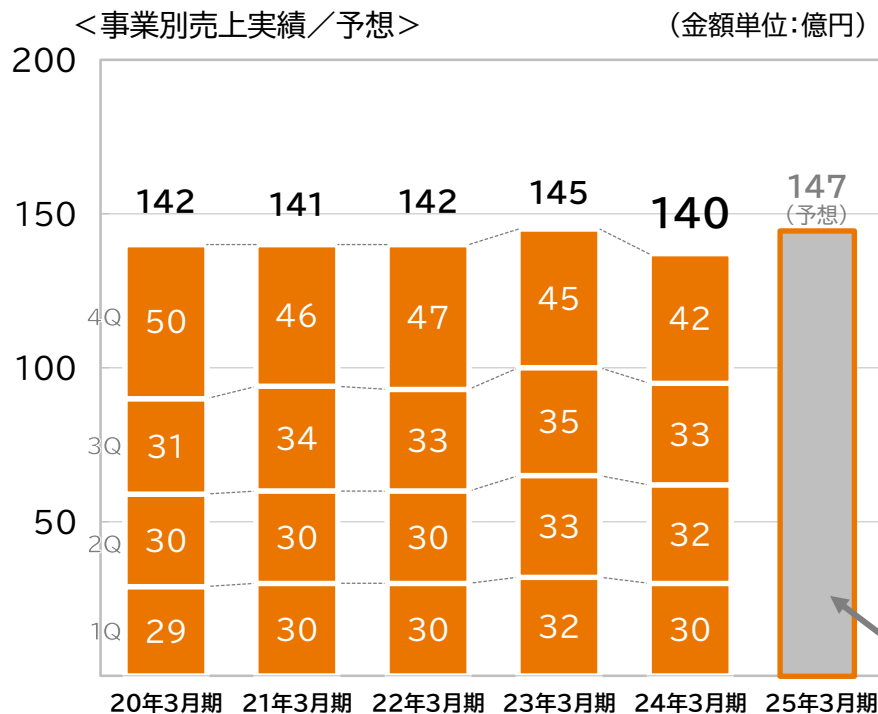
地域の中小企業や個人事業主向け販促課題の
解決により収益拡大を実現

次期取り組み

- ターゲット業種拡大など、販促パッケージ推進を継続
- パッケージを入口として高付加価値なコンサルティング系サービスを提供・拡大

前期受託案件の反動減や 子会社の一部サービス終了 ZENRIN Maps APIの導入は拡大

24年3月期 実績 【140億円】	前期比	△5億円 (△3.6%)
	業績予想比	△8億円 (△5.7%)



ビジネス概況

- 大手企業向けソリューションサービス【フロー型 ↘ / ストック型 ↗】
 - ✓ 一部の既存取引の規模縮小、前期計上した大型案件の反動減等により減少
- 子会社の一部サービス終了
 - ✓ 物販関連通販サイトのサービス終了(2022年8月)
- ZENRIN Maps API ↗【ストック型】
 - ✓ 当社データベースのデータと機能を直接活用できるAPI 企業の業務DX化ニーズを追い風として、利用企業が増加

中計:ZGP25ゴール

「ZENRIN Maps API」を活用した
業界別ソリューション強化による売上拡大

次期取り組み

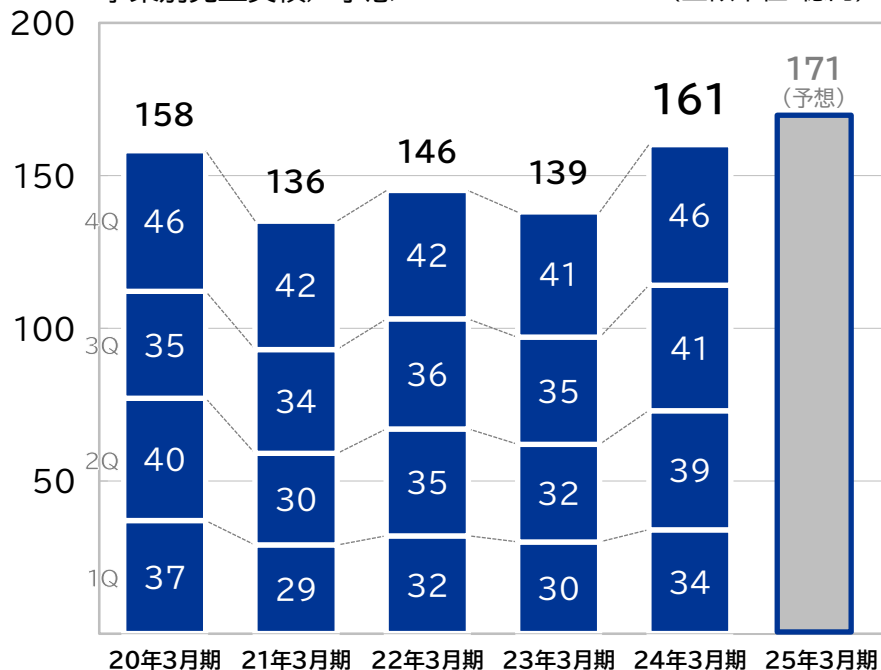
- IoTソリューションビジネス
 - 新規顧客の開拓を強化
- ZENRIN Maps API
 - 業界/業務別に最適化したソリューションパッケージの追加など 機能・サービスを拡大し、ストック型ビジネスへの転換を推進

※(株)Will Smart が、上場(2024年4月)により連結子会社から持分法適用関連会社となったことによる当事業への影響額: 約▲10億円(同社の前期売上実績)

自動車生産の回復に伴い カーナビ向けデータ販売好調

24年3月期 実績 **【161億円】** 前期比 +22億円 (+16.0%)
業績予想比 +3億円 (+2.4%)

<事業別売上実績/予想> (金額単位:億円)



ビジネス概況

- カーナビ向けデータ提供 【フロー型】
 - ✓ 自動車生産の回復に伴い、コロナ禍前の水準まで売上回復
 - ✓ 出荷停止など自動車販売の減少要因はあったが、当社データ採用モデルの販売は概ね期初予想並みで着地
- 参考: (社)日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会
国内自動車販売台数(2023年4月~2024年3月):453万台(前期比+3.3%)
- EV向けコンテンツ需要拡大
 - ✓ 2023年9月:パナソニックHDとEV普及に貢献するアライアンスを発表、「EVチャージ需要マップ」提供開始

中計:ZGP25ゴール

次期取り組み

ビジネス領域の拡大とADASコンテンツによる高付加価値化

- 高付加価値化による単価アップ
 - EV/ADASコンテンツの提案強化
 - コネクテッド対応のナビアプリ開発によるビジネス領域の拡大
- 市場シェア拡大
 - 当社データ未採用メーカーへの切り替え提案を更に強化

6) 地域共創プロジェクトの進捗

地域共創:取り組み概要

地域ステークホルダーとの関係構築と連携により、「地域課題の顕在化」を行い、「地図情報を活用した地域課題の解決策提供」と「持続可能なビジネス」の共存を実現

直近の取り組み

先行地域で地域課題を解決する商品・サービスを創出

目指す姿

汎用機能化し、他地域へ展開

自治体

地域ステークホルダー

地域事業者

進捗・実績 (2021年7月～現在)

■ 連携協定締結を起点としたリレーションを構築

- ▶ 自治体との定期的な成果報告会実施 及び 地域プロジェクトへの参画を起点に用途開発を推進

■ 自治体 及び 地域事業者との連携により、地域課題を起点としたサービス開発テーマ10件を顕在化

- ▶ テーマ毎に、地図APIをベースとした用途開発により、カスタマイズサービスの構築を共同実施
ストック型サービスとしての用途開発や汎用機能化の余地を確認

協業検討テーマ例

今期中に複数案件をサービスイン予定

■ 空き家対策支援

自治体保有情報と空間情報の掛け合わせによる
空き家所在推定ツール開発 及び 対策構築

■ 地域公共交通の効率化支援

交通ICカードの履歴データ分析ツール構築、
行政施策分析、エリアマーケティングツールの構築

■ 地域分析の支援

都市計画区域における各種データの正規化及び
民間データを活用した地域情報の可視化ツール構築

■ 都市計画政策分析の支援

■ 地域巡回業務の効率化

…他

■ 観光型MaaSサービス「STLOCAL」

- ▶ 地域事業者の協力を得て、アプリで集客→実店舗へ送客→店舗・観光客双方のメリット創出スキームを実現
- ▶ 「2024長崎ランタンフェスティバル」の公式アプリに採用 → 地域観光促進に寄与

■ Appendix

【2024年3月期 実績】

- 1) 売上高・利益の推移
- 2) 四半期売上高構成比率の推移
- 3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 4) 主なニュースリリース・お知らせ

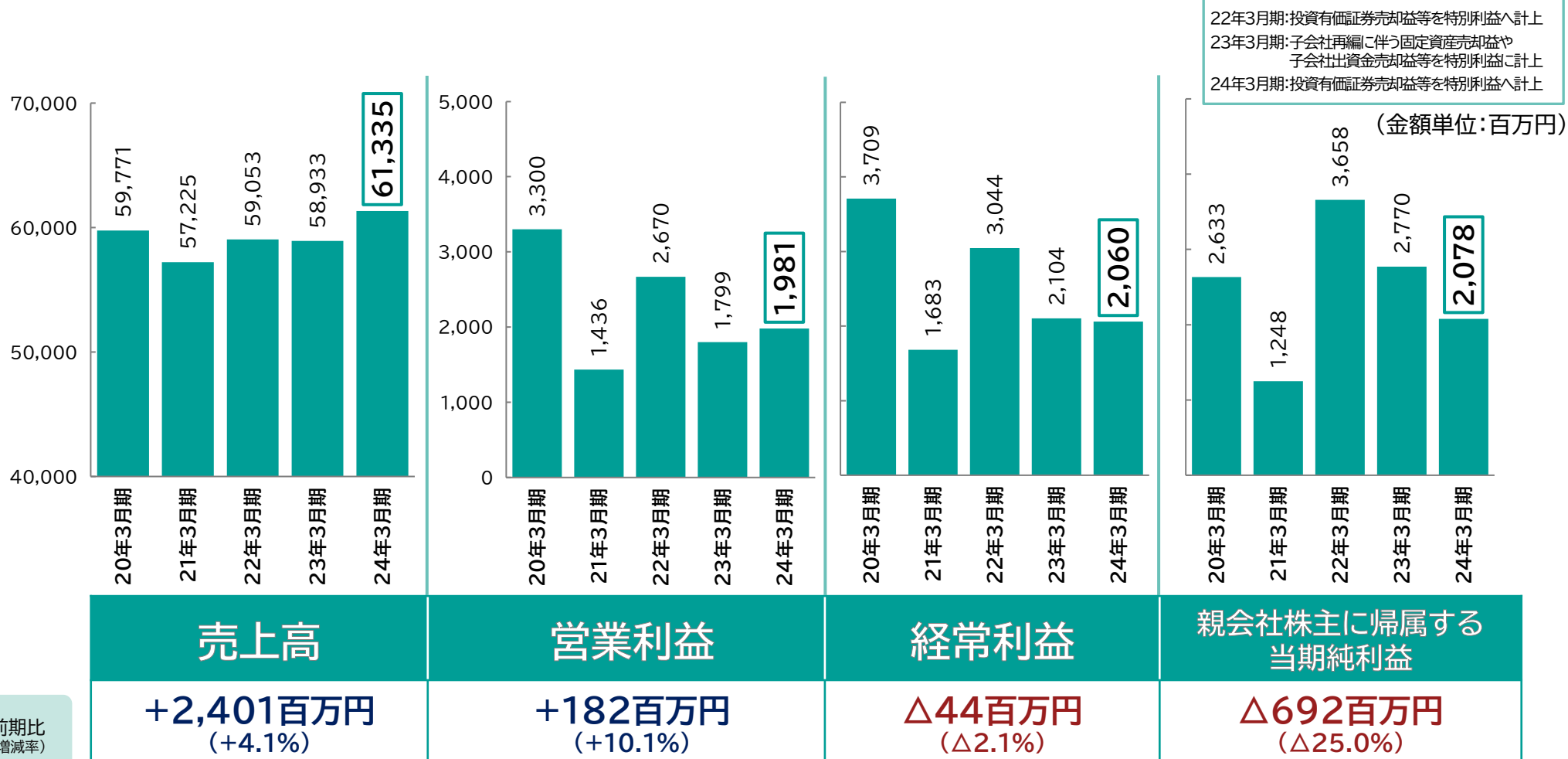
【2025年3月期 通期業績予想】

- 5) 事業別売上高の推移
- 6) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

【業績トレンド】

- 7) 連結業績推移
- 8) 業績トレンド

1) 売上高・利益の推移



2期ぶり 増収

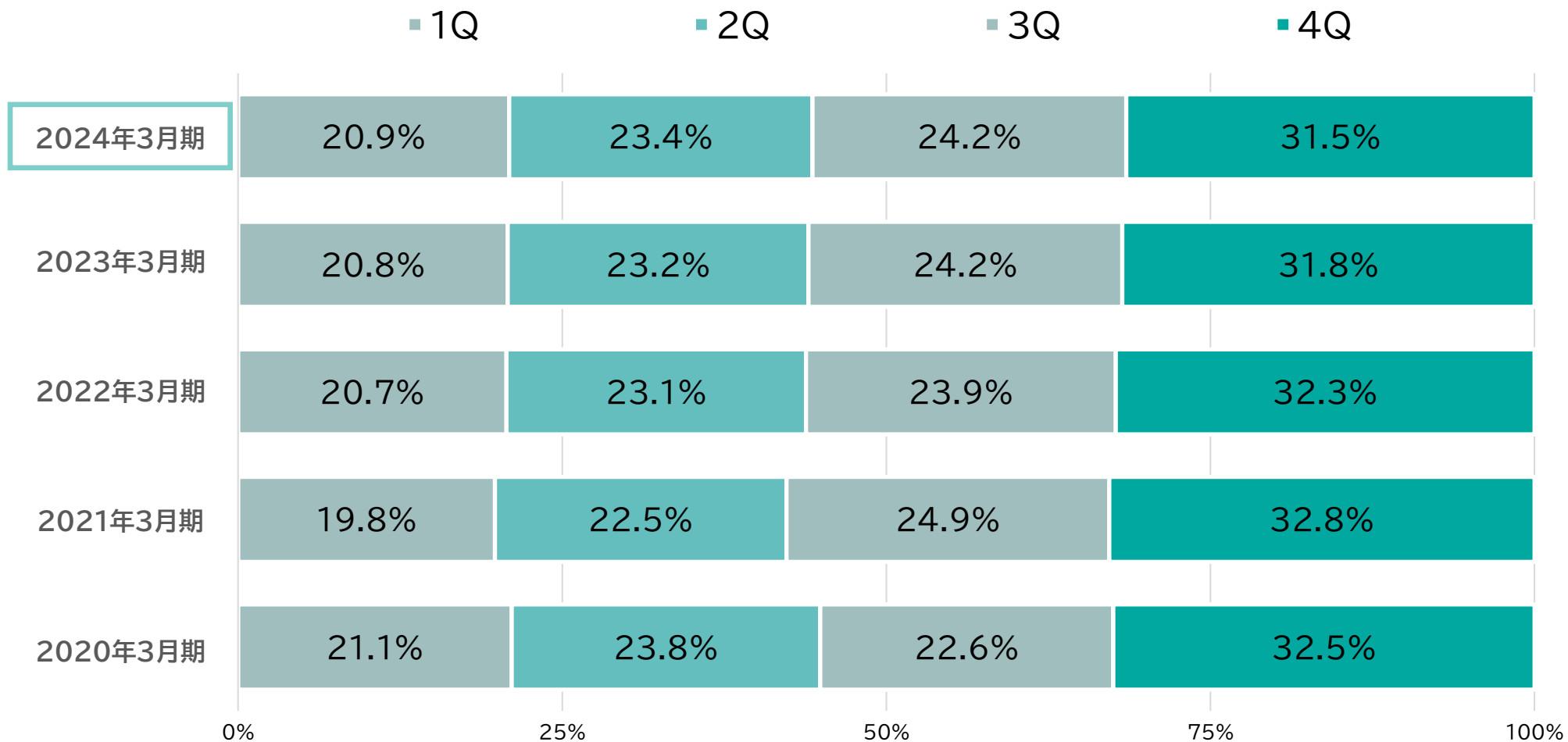
2期ぶり 増益

2期連続 減益

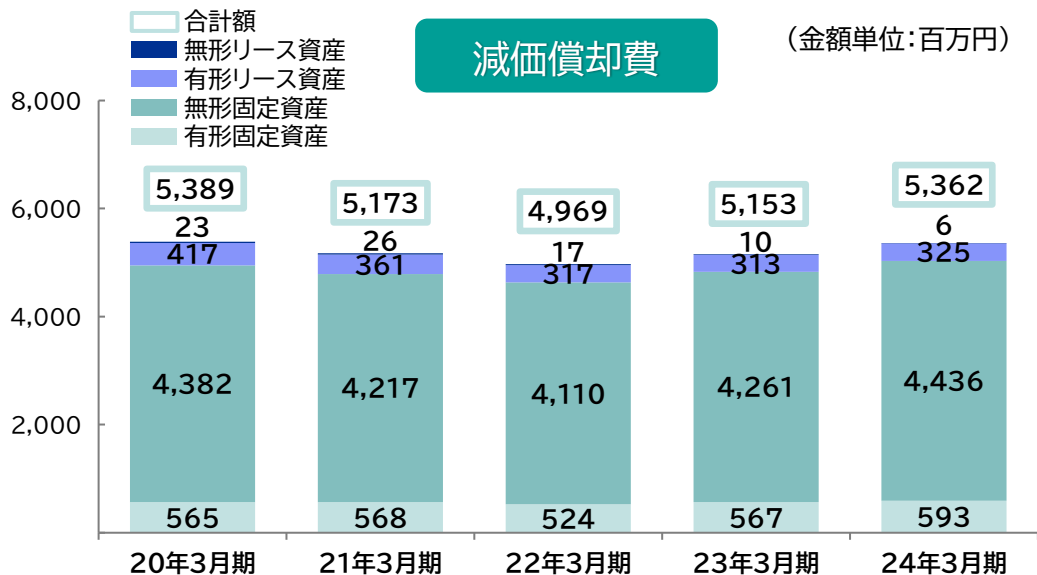
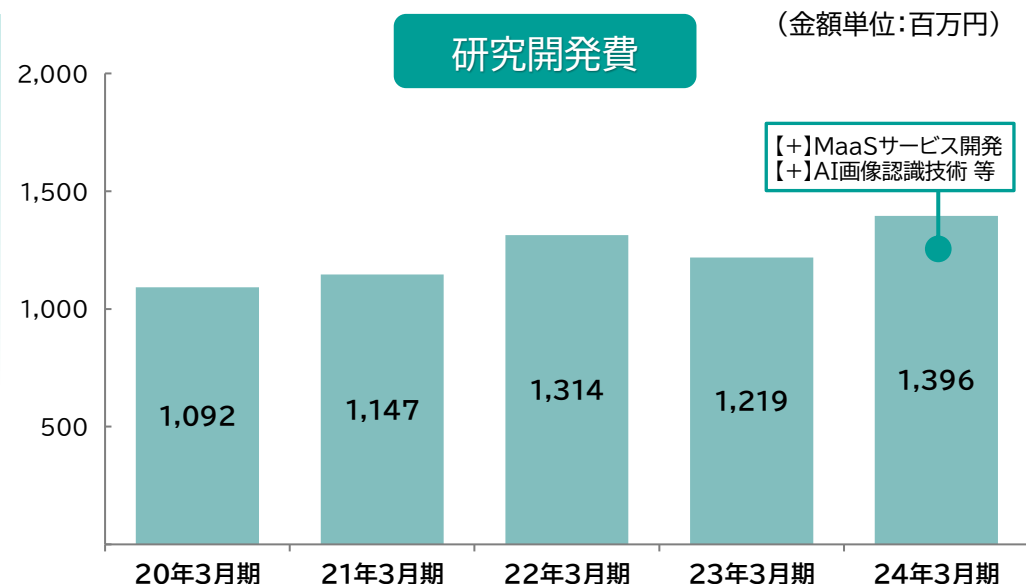
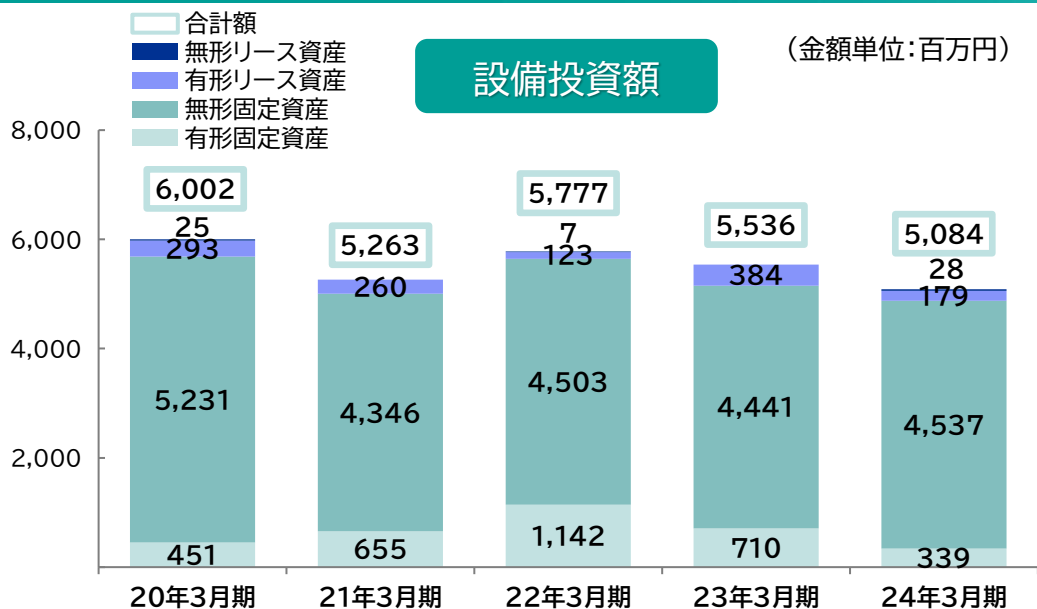
※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用しておりますが、2021年3月期以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していません。(次ページ以降同様)

2) 四半期売上高構成比率の推移

従来より当社グループの売上高は季節的変動が著しく、第4四半期に売上が集中する傾向



3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



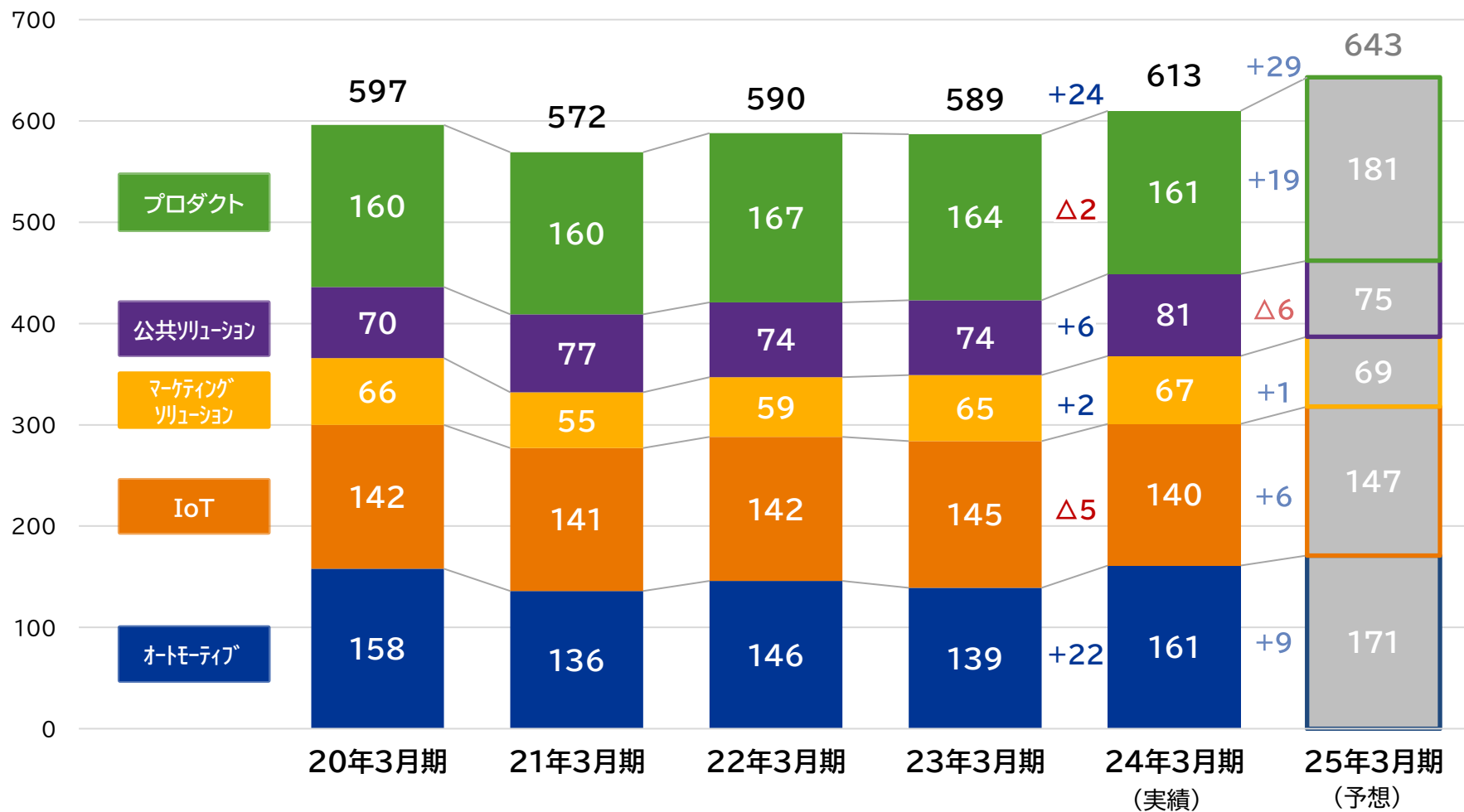
4) 主なニュースリリース・お知らせ

リリース日	タイトル	区分
2023年 4月3日	コーポレートベンチャー投資ファンド「ZFP第2号投資事業有限責任組合」を設立	IR
4月5日	秩父市中津川地内で実施したドローン定期配送が完了	IoT
4月13日	商品・サービス価格改定に関するお知らせ	その他
5月16日	-ゼンリン・長崎県五島市- 五島市における観光DX推進に関する連携協定を締結	IoT
5月26日	賃貸住宅情報管理機構株式会社への出資のお知らせ ～国土交通省が推進する不動産IDとの連携で不動産業界の業務を効率化～	IoT
6月20日	ゼンリンデータコムと三井E&Sが、ドローン自動飛行点検ルート生成アプリ「ドローンスナップ」の開発を開始	IoT
6月26日	福岡市天神に7月1日(土)リニューアルオープン「Map Design GALLERY & LAB」	その他
9月8日	パナソニックHDとゼンリンが電気自動車(EV)を活用したエネルギー管理の共同開発に着手 カーボンニュートラル実現への貢献を目指し「EVチャージ需要マップ」の提供を開始	AM
10月18日	47都道府県の形を彩り豊かにデザインしたピンバッジ 新商品「街まち 47palette カラーピンズ」	その他
11月15日	福島県浪江町とゼンリン「なみえI・DOプロジェクト」の実証実験【第2弾】を実施	IoT
11月22日	開幕まであと500日！2025大阪・関西万博公式ライセンス商品「Expo2025ビューマップカウントダウンポスター」を販売開始	PR
2024年 1月15日	本田技研工業のカープローブデータを活用した災害時のための地図『通行実績情報マップ』を「いつもNAVI(web)」上で無償公開中	IoT
1月22日	-ゼンリン、長崎市- 「2024長崎ランタンフェスティバル」で公式サービスとして観光型MaaSアプリ「STLOCAL」を活用した観光DX推進に関する実証を実施	IoT
1月24日	ゼンリンが調査・整備するEV充電スタンドの詳細情報を拡充 ～満車・空車状況をリアルタイムで確認できる「満空情報」を提供開始～	AM
1月25日	-山口県光市・ゼンリン- 地域の移動利便性向上を目指し「光市 予約制乗合タクシー」の実証実験を2月1日(木)より開始	IoT
2月26日	株主優待制度の一部変更に関するお知らせ	IR
3月13日	連結子会社(株式会社Will Smart)の上場承認及び株式売却に伴う子会社の異動に関するお知らせ	IR
3月21日	-スカパーJSAT、ゼンリン、日本工営- 「LIANAメッシュ」の提供を開始	IoT
3月27日	特別利益(投資有価証券売却益)の計上に関するお知らせ	IR
3月28日	秋田県横手市にて、災害時の避難所運営を最適化する「シームレス避難所システム」の運用を開始	IoT
4月10日	営業活動をトータルで支援 新サービス登場！「ZENRIN GISパッケージ セールスサポート」の販売を開始	PR
4月26日	ローカスブルー株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ	IR

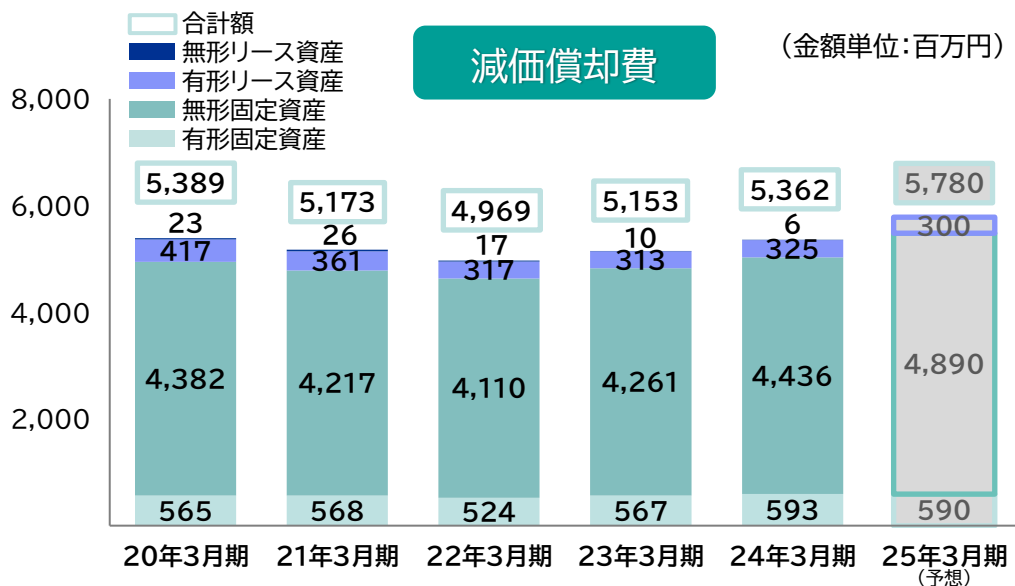
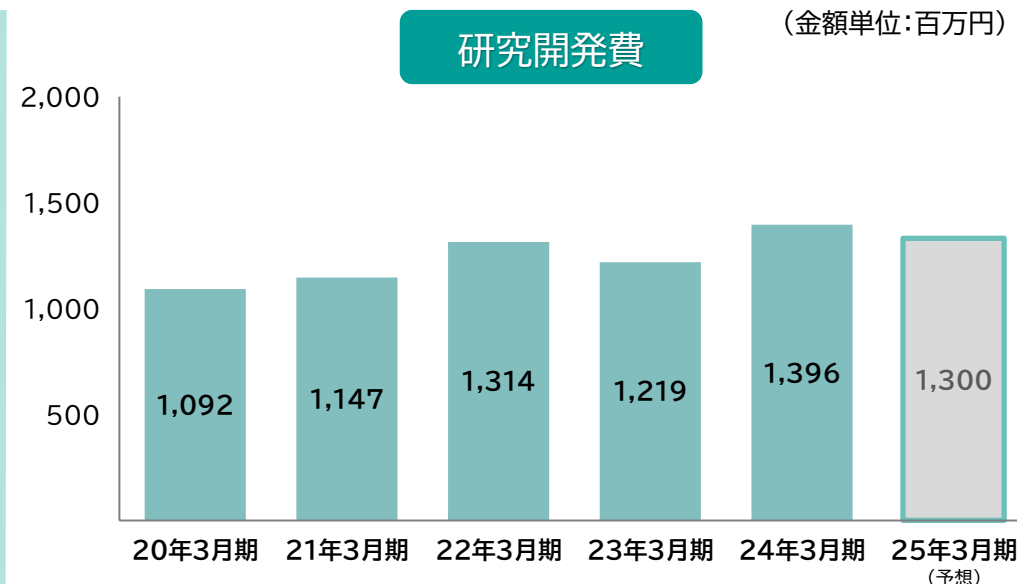
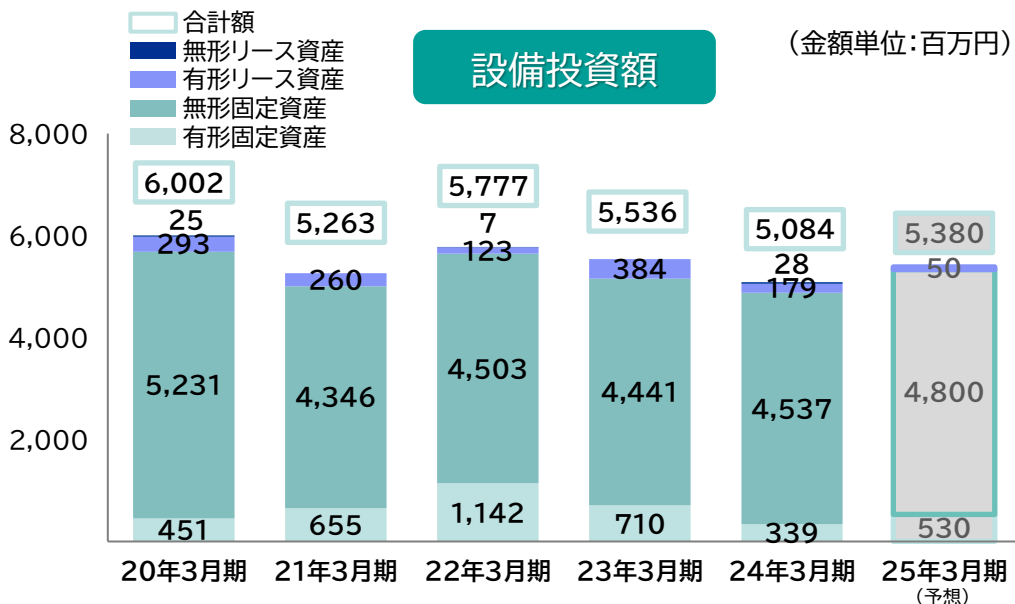
※詳細は当社ホームページをご覧ください <https://www.zenrin.co.jp/information/>

5) 事業別売上高の推移

(金額単位:億円)



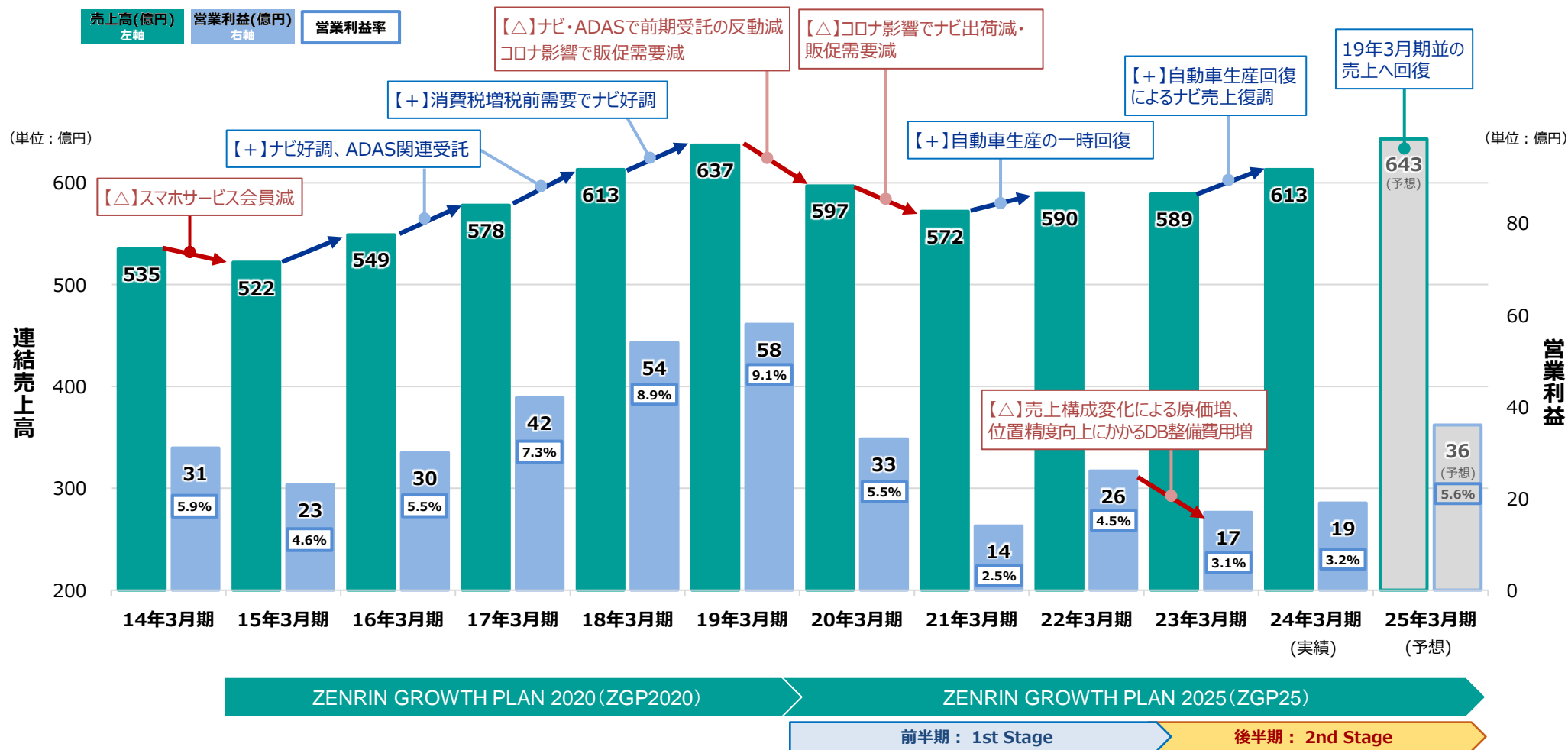
6) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



7) 連結業績推移

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期 (予想)
売上高 (百万円)	52,286	54,970	57,819	61,332	63,747	59,771	57,225	59,053	58,933	61,355	64,300
営業利益 (百万円)	2,389	3,038	4,234	5,441	5,824	3,300	1,436	2,670	1,799	1,981	3,600
営業利益率 (%)	4.6	5.5	7.3	8.9	9.1	5.5	2.5	4.5	3.1	3.2	5.6
経常利益 (百万円)	2,751	3,427	4,527	5,863	6,200	3,709	1,683	3,044	2,104	2,060	3,700
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,464	1,610	2,462	3,336	3,206	2,633	1,248	3,658	2,770	2,078	2,500
ROE (自己資本当期純利益率) (%)	3.9	4.0	6.0	8.2	8.1	6.6	3.0	8.1	5.9	4.4	5.0

8) 業績トレンド



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
IRお問い合わせ先 zenrin-ir@zenrin.co.jp

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、
実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数は切捨て、増減率は小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「-」表記しております。